

重誓寺報

第37号 平成28年12月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) **重誓寺**
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090

内い縁会 まな門てした々人よい伝のとこと御宗 勤と
いまにに是す。ごにいてだにでび、わみしこのみこの法要は、宗
いたすおご非、法とたおく参もか宗る教て、要を、に奉告する
たしましよ会一、要つだ勤こ拝多け門こえ、がをお念機まる
すうい緒このあ大、さをての、外を広念機また
。ご下このあ大、さをての、外を広念機また
案さ勝機り切宗せ期い方一に願く仏縁

本願寺では平成二十六年六月、専如様が第二十五代門主として継承され、本年から来年にかけて伝灯奉告法要がお勤めされます。

本願寺の歴代宗主

ご開山	親鸞聖人 (しんらん)	【1173 ~ 1263】	宗祖
第2代	如信 (によしん)	【1235 ~ 1300】	
第3代	覚如 (かくによ)	【1270 ~ 1351】	親鸞伝絵作
第4代	善如 (ぜんによ)	【1333 ~ 1389】	
第5代	綽如 (しゃくによ)	【1350 ~ 1393】	富山瑞泉寺建立
第6代	巧如 (ぎょうによ)	【1376 ~ 1440】	
第7代	存如 (ぞんによ)	【1396 ~ 1457】	東山に本願寺建立
第8代	蓮如 (れんによ)	【1415 ~ 1499】	中興の祖・山科本願寺
第9代	実如 (じつによ)	【1458 ~ 1525】	
第10代	証如 (しょうによ)	【1516 ~ 1554】	大坂石山本願寺
第11代	顕如 (けんによ)	【1543 ~ 1592】	信長との石山合戦
第12代	准如 (じゅんによ)	【1577 ~ 1630】	東西に分派
第13代	良如 (りょうによ)	【1612 ~ 1662】	
第14代	寂如 (じゃくによ)	【1651 ~ 1725】	最長の63年間在職
第15代	住如 (じゅうによ)	【1673 ~ 1739】	九条兼晴の第三子
第16代	湛如 (たんによ)	【1716 ~ 1741】	
第17代	法如 (ほうによ)	【1707 ~ 1789】	
第18代	文如 (もんによ)	【1744 ~ 1799】	
第19代	本如 (ほんによ)	【1778 ~ 1826】	三業惑乱を収める
第20代	広如 (こうによ)	【1798 ~ 1871】	正信偈を節譜
第21代	明如 (みょうによ)	【1850 ~ 1903】	海外開教
第22代	鏡如 (きょうによ)	【1876 ~ 1948】	大谷探検隊
第23代	勝如 (しょうによ)	【1911 ~ 2002】	教章を制定
第24代	即如 (そくによ)	【1945 ~	前門
第25代	専如 (せんによ)	【1977 ~	現門主



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席でお参りいただけます。

常例法座

十二月二十日(火)二時、七時

講師 中西 昌弘 師

一月二十日(金)二時、七時

講師 足利 孝之 師

二月二十日(月)二時、七時

講師 巖水 法乗 師

春季永代経法要

三月二十日(月)二時、七時

二十一日(火)二時

講師 味府 浩子 師

心に残った法話のお言葉

仏様が私を助けるとおっしゃることと、私が助かると言うことは表裏一体であります。その仏様に感謝し、そのことを子や孫に伝えていくことが私が残す財産であります。

(九月 巖水法乗師)

勝るものは難しいと言うのが一般の考え方です。しかし仏教の根本は全ての者が救われることです。私が難しい行をするのではなく、南無阿弥陀仏の名号となり既に私に至り届いているのです。

(十月 宏林晃信師)

修正会しゅうしんかい(元旦会)

元旦 午前八時より約一時間

お勤め、法話、流盃

大晦日は午後十一時より

一日午前一時まで開門致します。



親鸞聖人 和讃の教え

光雲無礙如虚空

一切の有礙にさはりなし

光沢かぶらぬものぞなき

難思議を帰命せよ

(浄土和讃 六)

雲のように潤いをもたらす阿弥陀如来の光りは、何ものにも遮られることはありません。私たちは、この射し込む光の心潤わせる恵みによって信心をいただいている。私たちは言葉で表し尽くすことのできぬ、阿弥陀如来の光りの中を生きよう。

江戸から明治時代にかけて、浄土真宗の篤信者を示す「妙好人」と呼ばれる方が現れました。そのほとんどは農民を中心とする庶民的な念仏者で、生活を念仏中心においてこられた方々です。

妙好人の中で、島根県石見の浅原才市(1851-1932)さんの言葉をいくつか紹介致します。

如来さんはどこにをる

如来さんはここにをる

才市が心に満ち満ちて

なむあみだぶつを申しているよ

聞いた聞きたいいいこと聞いた

凡夫が仏になること聞いた

聞いても聞いても何ともない

何ともないのが目当てと聞いた

かぜをひけばせきがでる

さいちがごほうぎのかぜをひいた

ねんぶつのせきがでるでる

阿弥陀如来の慈悲の光りは、私が気づかずとも、いつでも分け隔てなく降り注がれています。

是非、お念仏が溢れる現代の妙好人としての生活をお過ごし下さい。



第25代
専如門主

伝灯奉告法要

榎並組 団体参拝

西本願寺

一緒に参拝いたしましょう

全席イス席です

平成29年3月7日(火)

伝灯奉告法要とは

専如門主は、平成26年6月6日に法義の伝統を継承し、第25代門主となりました。伝灯奉告法要は、宗祖親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」(法灯)を継承されたことを阿弥陀如来と親鸞聖人の御前に奉告するとともに、またこの法要を機縁として、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、宗門内外によびかけて、一人でも多くの方々に参拝していただくことを期してお勤めさせていただきます。宗門にとって大切なご法要であります。



日程	午前8時半～9時	順次バスにて出発 (出発時間、場所はあらかじめご連絡します)
	午前10時頃	西本願寺到着 記念撮影 自由行動
	午前11時半	昼食(京都東急ホテル)
	午後1時	入堂 説明 挨拶
	午後2時	伝灯奉告法要 伝灯のつどい
	午後3時半	法要終了
	午後5時頃	帰阪予定

参加費 5,000円/1人

申込み締め切り

12月20日 までに所属寺にご連絡ください。

費用は当日までに所属寺に納めてください。領収書は当日お渡します。

龍谷ミュージアム(本願寺前) 特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ」

— 守り伝える美とおしえ — (平成29年3月4日～) にて

重誓寺所蔵「方便法身阿弥陀如来画像」が展示されます。

重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail info@juseiji.net

寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。

ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。